

第1回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会会議録

- 1 開 会 平成24年7月23日（月） 午後1時30分
- 2 場 所 三条市役所栄庁舎 201会議室
- 3 出席者 宮菌委員、宮原委員、杉野委員、小野島委員、丸山委員、小越委員、阿部委員、関委員、上石委員、石黒委員、鈴木委員、住吉委員
- 4 説明のための出席者
長谷川教育長、池浦教育部長、大平教育総務課長、高橋学校教育課長、嘉代小中一貫教育推進室長、高野教育総務課課長補佐、大谷教育総務課庶務係長、野水教育総務課庶務係主任
- 5 傍聴人 4人
- 6 会議次第
 - (1) 開 会
 - (2) 開会あいさつ
 - (3) 自己紹介
 - (4) 委員長の互選
 - (5) 職務代理委員の指名
 - (6) 議事
 - ア 校名等制定委員会会議運営方針について
 - イ 校名等制定委員会の進め方について
 - (7) 次回制定委員会の日程について
 - (8) 閉 会
- 7 審議の経過及び結果
 - (1) 開会
(池浦教育部長)

それでは、ただ今から第1回三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会を開催いたします。

初めに、長谷川教育長からあいさつを申し上げます。
 - (2) 開会のあいさつ
(長谷川教育長)

教育長の長谷川でございます。本日はご多用の中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございました。また、三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会

の委員をお願い申し上げたところ、快くお引き受けくださり、誠にありがとうございました。

さて、ご承知のとおり、三条市では教育制度検討委員会の提言を受け、学校教育の様々な課題を解決するために、幼稚園・保育所から小学校、そして小学校から中学校へのスムーズな移行が図れ、こどもたちが心身ともに健やかに成長していくことが一層期待される小中一貫教育を導入することとなりました。そこで、小中一貫教育のメリットを最大限に生かすことを目的に、四日町小学校・条南小学校・南小学校を統合し第一中学校との一体校の工事が、平成26年4月の開校を目指して、順調に進められております。

つきましては、この統合小学校のシンボルとなる校名・校歌・校章などを決定していかなければならないところでございますが、将来にわたり地域の思いや愛着が感じられる校名案等をご決定いただきたく、お願いを申し上げます。ご委嘱申し上げる期間につきましては、平成26年3月31日までと少し長い期間となり、委員の皆様には大変ご苦勞をおかけいたしますが、どうか地域が期待している校名等の制定にご協力いただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

(3) 自己紹介

(池浦教育部長)

最初の委員会でございますので、まずは自己紹介をお願いしたいと存じます。委員名簿順に宮菌委員からお願いいたします。

——各委員自己紹介——

ありがとうございました。続きまして、事務局職員の自己紹介をさせていただきます。

——事務局職員自己紹介——

(4) 委員長の互選

(池浦教育部長)

それでは委員長の互選に入らせていただきます。

委員長につきましては三条市（仮称）第一中学校区統合小学校校名等制定委員会設置要綱第4条の規定によりまして、委員の互選により定めることとされております。選出の方法はいかがいたしましょうか。

——事務局一任との声——

(池浦教育部長)

事務局一任とのご発言がありましたが、事務局一任でよろしいでしょうか。

それでは事務局から委員長を推薦させていただきます。私どもといたしましては、教育行政について幅広く研究されておられます、新潟大学の宮菌委員に委員長をお願いしたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

——拍手により承認される——

(池浦教育部長)

それではご異議がございませんので、宮菌委員に委員長をお願いすることと決定させていただきます。宮菌委員、委員長席にお移りいただき、一言ごあいさつをよろしくお願い申し上げます。

(宮菌委員長)

改めまして、一言ごあいさつさせていただきます。

子どもや地域の方々の思いや、歴史を踏まえて校名や校章などを制定し、新しい学校を作っていく、未来に向けて願いを込めていくという作業になっていくかと思います。そのため非常にやりがいのある仕事であると同時に、責任も大きいものであると思っております。私の役目として、議論の方向をそのようにリードできればと思います。

できる限り皆様のご意見を引き出し、反映できる形で事務局へ提言していきたいと思っておりますので、何とぞよろしくお願いいたします。

(池浦教育部長)

ありがとうございました。それでは以降の進行につきましては、宮菌委員長からお願いいたします。

(5) 職務代理委員の指名

(宮菌委員長)

それでは、次第に沿って進めさせていただきます。次第5の職務代理委員の指名につきまして、要綱の第4条第3項で、委員長があらかじめ指名することとなっておりますので、私から指名させていただきます。

職務代理委員は、上石委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

——拍手により承認される——

(上石委員)

ただいまご指名を受けました、上石貞夫でございます。私は南四日町一丁目で生まれ育ち、学校は四日町小学校、第二中学校と進みました。そのため、私にとっては非常に大切なふるさとの四日町でございます。

今度は四日町小学校が小中一体校になり、3校が合わさるわけですが、子どもたちが未来に向けて成長できるような、立派な名前・校章を制定したいと思っております。皆様方もご協力よろしくをお願いいたします。

(6) 議事

ア 校名等制定委員会会議運営方針について

(宮菌委員長)

それでは議事に入らせていただきます。初めに、本日の議事は2点でございます。

まず校名等制定委員会会議運営方針(案)について、事務局から説明をお願いします。

——大平教育総務課長が説明——

(宮菌委員長)

ただ今の件につきまして、ご発言ありましたらお願いいたします。

——異議なしにより、承認される——

(宮菌委員長)

ご異議がありませんので、校名等制定委員会会議運営方針は、(案)を取って決定いたします。

イ 校名等制定委員会の進め方について

(宮菌委員長)

次に、2点目の校名等制定委員会の進め方について、事務局から説明をお願いします。

——大平教育総務課長が説明——

(宮菌委員長)

ただ今の件につきまして、ご発言がありましたらお願いいたします。

(関委員)

実際に次回委員会を開くにあたって、資料は事前にいただけるのでしょうか。当日その場で見るという形では考えがまとめられないと思います。

(大平教育総務課長)

本日は当日配送させていただきましたが、2回目以降はできる限り早めに資料を送付したいと考えております。どんなに遅くとも3日前、可能であれば1週間前を目安に送らせていただきます。

(宮菌委員長)

他にございますか。ないようでしたら、校名等制定委員会の進め方については決定いたします。事務局から現段階で委員会開催の計画案がございましたら、説明願います。

・ **委員会開催スケジュールについて**

——事務局案配布、大平教育総務課長が説明——

(宮菌委員長)

ただいまの件につきまして、確認したいことはございますか。

(宮原委員)

次回会議は8月上旬ということですが、具体的な日時は決まっていますか。

(大平教育総務課長)

後ほど、次回の日程について提案をさせていただきますが、8月7日の午後1時半から予定しておりますので、よろしくお願いいたします。

(宮菌委員長)

その他日程等について、ございますか。

(杉野委員)

今後行われる会議につきましても、おおむね午後1時半からの開催ということでよろしいでしょうか。

(大平教育総務課長)

私どもといたしましては午後からを予定しておりますが、委員の皆様から時間の提案がございましたら、検討させていただきますので、よろしくお願いいたします。

(杉野委員)

できる限り多くの委員が出席できるような調整をしていただければと思います。よろしくお願いいたします。

(宮菌委員長)

よろしいでしょうか。ではご理解いただきたいと思います。

先ほど、資料2で平成25年2月の校名制定委員会にて校名案を決定し、その後、教育委員会で決定していくという流れがございましたが、校名募集について具体的な事務局案がございましたら説明をお願いします。

・ 校名募集について

——事務局案配布、大平教育総務課長が説明——

(宮菌委員長)

ただいま、校名募集について事務局から現段階での素案を示していただきました。

委員の皆様からこの内容について、本日承った意見を踏まえて次回委員会で事務局から提案をしたいとのことですので、まずは応募資格についてご意見がありましたらお願いいたします。

(関委員)

3案につきまして、市内外問わず公募となると、思いという面から離れてしまう感じがいたします。ただ、この案に過去第一中学校区出身という縛りをつければ問題ないように思います。三条市出身の方は日本全国にいらっしゃいますので、そうした方から求めることによって、良い案も出てくると思われそうですが、いかがでしょうか。

(杉野委員)

公募を基本とする考え方が示されておりますので、3案の市内外を問わず広く公募する形であっても、大きく支障は出ないのではないかと思います。三条市出身、第一中学校出身の方も公募しやすくなり、門戸を広げるという意味でも広く公募するのがよろしいと思います。

(宮菌委員長)

公募を前提とした場合、広く募っていくことが可能だという意見でございますが、いかがでしょうか。

(小越委員)

話は異なりますが、校名が採用された方に粗品等は出すのですか。

(大平教育総務課長)

予算は計上しておりませんが、良い方法があればとは考えております。そもそもそうした粗品が必要か否かも含め、考えていく必要があると思われまして。次回提案いたします募集要項の中には、当然その記載も必要であると思えます。

(宮菌委員長)

記念品の贈呈に関しても、今後選考方法を決める中で検討していくということですね。

(阿部委員)

校名制定に関する基本的な考え方に「将来にわたり地域の思いや愛着が感じられるものとするため」とありますので、単なる愛称であるという考えから応募された名前が来ると困るのではないかと思います。それはこの委員会にかけられていくので、やはり応募については大勢の方からしていただいた方が良くと思います。私は3案に賛同いたします。

(上石委員)

小中一体校は3校が統合しますが、それぞれに思い出が多くあるかと思います。そのため、私はやはりその地域に住んでいた方々が思いを込めて作った名前の方が、地域に関する思いが出てくるのではないかと思います。2案というわけにはいかないかもしれませんが、せめてそれに近いような方々を中心にして名前ができればいいと思いますし、せめて嵐南地区の方々に願いを込めて応募してくださいと言った方が良いと考えます。

(宮菌委員長)

事務局としては現段階で複数の意見があるという形で、次回会議で決定するという形でよろしいでしょうか。

(大平教育総務課長)

本日、様々なご意見をお伺いした中で、次回提案をさせていただきたいと思っております。公募の形をどのようにするかという検討をしていただきまして、その後出てくると思われる様々な公募からどのように決定していくかという点に関しましては、次回以降の検討課題になるかと思います。スケジュール的には厳しい所もございますが、公募を幅広く行った上で、決定の際にはアンケート等により地域の方々にもう一度意思を伺うなど、地域へ意見を求める場の設定も可能かと思っております。それも含め、本日は公募の範囲について幅広くご意見を頂ければと思いますので、よろしく願いいたします。

(宮菌委員長)

どのような範囲で公募をするかということについて、いかがでしょうか。

(宮原委員)

公募で校名が出てきた際に、その名前が一番であり、その校名が地域の方全員の意見として決定事項であると思われてしまうと良くないので、公募の段階で注意していただきたいと思います。また、組織票の可能性についても懸念しております。広く公募も良いとは思いますが、興味本位の方の応募があると考えますと、三条市民に限定する方が良いのではないかという気もいたします。その上で、公募した後の修正、処理については慎重に行っていただきたいと思っております。

(杉野委員)

市町村合併の事例から見ると、広く公募しても市外県外からの応募は多くはなかったと記憶しております。公募内容に対して全く関係のない応募も確かにありますが、それは地元の方からの応募についても同様ですので、公募の範囲にはあまり関係しないと思っております。基本的には上石委員のおっしゃるように地域の方が考えて決めていくのが筋道であるとは思いますが、後になって良い意見を聞き逃したと後悔しないために、広く意見を求めるという意味で公募の範囲を広げてはいかがでしょうか。応募方法について、指定が細かく書かれておりますので、公募を行っても支障はないと思っております。

(宮菌委員長)

応募方法について話ができましたので、この点についてはいかがでしょうか。

(上石委員)

規定の応募用紙以外での応募について書いてありますが、私は「その校名にした理由・

願いなど」ということが一番重要であり、選考の上での基本であるという気がしております。第一中学校区の方々と、市内外の方々では、校名にした理由についてのとらえ方が異なってくるのだらうと考えます。そのため、できる限り応募資格については小学校に関係する地域の方として、その校名にした理由・思いや願いを出していただければ、一番良い校名ができるのではないかと考えます。

(宮菌委員長)

応募方法についてはよろしいでしょうか。

(宮原委員)

学校名と、校名にした理由、住所・氏名・年齢、これらは必須項目ということでよろしいでしょうか。自由ではないということですよ。

(大平教育総務課長)

それはしっかりと募集要項の中で記載をいたしまして、必須条件であるということをお示ししたいと思います。

(宮菌委員長)

応募方法については、理由等が明記されていた方が選考においてもしやすいと思います。

その他、学校名の条件について、記載事項以外に必要であると思われること、不明な点はございますか。

(関委員)

2番の誤読の恐れがない、読み方がわかりやすいという点について、その校名に対して思いがあるのであれば良いのではないかと思います。あまり読み方の誤読にこだわると平仮名ばかりになってしまうような気がします。

(杉野委員)

文言は入れていただいた方が良いと思います。どんなに良いものを作っても誤読の恐れは必ずありますので、注意を払うことは必ずしていただきたいと考えております。平仮名に直したとしても、区切るところがわからず、元の漢字の意味がわからなくなってしまうのではないのでしょうか。

(関委員)

私が申し上げたかったことは、そうではなく、誤読のおそれがなくというハードルがあることで、ひらがなの応募が増えてしまうのではないかということです。

(杉野委員)

そうですね、できれば平仮名も避けていただきたいという風に思います。平仮名は口当たりは良いですが、後々批判が出やすいので、平仮名が駄目というわけではないですが、関さんのおっしゃることは確かに心配ではあります。

(関委員)

私としては、こうした文言を入れることによって、応募の絶対数が減ることに対して不安に思っているということです。

(杉野委員)

皆さんの判断における共通認識として、こうした認識があれば、記載しなくても良いか
もしれないです。難しい読みをする学校名が入ってきても困ると思います。

(宮菌委員長)

この件について、いかがでしょうか。

(宮原委員)

記載した方がよろしいと思います。この程度のことを書いたからと言って、すべてがひ
らがなになるとは思えないので、全然問題ないと思って見ておりました。

(小越委員)

記載した方がよろしいと思います。選考の段階で除外すれば良いと考えております。

(大平教育総務課長)

3つの小学校を統合するというございますので、例えば四日町小学校、条南小学校、
南小学校という名前が多数出てくるかと思われます。そもそもそれらを広く候補として公募
するか、入口の段階で除外するか、ということをおどもも現在考えておりますので、ご意見
いただきたいと考えております。

(宮菌委員長)

この件について、いかがでしょうか。

(丸山委員)

統合される小学校の名前を1つ採用するということは、地域が承知しないと思います。記
載の有無は別にしても、現在使われている学校名は採用しない方が妥当であると考えます。

(宮原委員)

再度確認したいのですが、学校名の条件については公募要綱に明記するのではなく、委員
会内の方針として考えると捉えてよろしいですか。

(大平教育総務課長)

既存の学校名をどうするかについては、募集段階で定める場合もあれば、委員の中で選定
するなかでルールとして決める方向もございます。次回募集要項のなかで、既存の学校名が
対象とならない旨を記載するか否かについて検討を行い、お示ししたいと思っております。

(宮菌委員長)

私といたしましても、既存の学校名だとうまくいかないと思われますので、最初からその
ようにしていくのも手かと思っておりますが、いかがでしょうか。

(宮原委員)

この委員会は本日が初めてですし、校名をどうするかについても討論しておりません
ので、名称制限については明記をせずに募集して、委員会内で話をする方が良いと思います。
制限はしない方が良いのではないかと考えます。

(杉野委員)

学校名の条件につきまして、勘違いされては困るので、校名制定に関する基本的な考え方
として、公募を基本とし、それを参考にするという文言も入れていただければと思います。

(宮菌委員長)

学校名の条件について2点ほど意見がありましたので、次回ご提案願います。周知方法に

ついてはいかがでしょうか。

(宮原委員)

締め切りはいつごろを予定していますか。

(宮園委員長)

事務局、いかがでしょうか。

(大平教育総務課長)

次回委員会にて、募集要項についてご決定いただけましたら、すぐさま手続きに入りたいと思っております。第3回を10月に予定しておりますので、その日程によると思いますが、短ければ1か月、長ければ1か月半を考えております。

(宮原委員)

あまり長く募集してもたくさん来るわけではないと思うので、1か月がいいところではないでしょうか。

(宮園委員長)

周知方法はよろしいでしょうか。

(関委員)

3案であれば、雑誌を使うのはいかがでしょうか。公募ガイドという、公募のみが載せられる雑誌がございます。

(宮園委員長)

では、少しもどりまして、公募の範囲についてご意見はございますか。

(阿部委員)

意見が変わりますが上石委員のご意見を伺い、思いを込めるという視点から、広い範囲では行わない方がよいという考えです。一中学区出身の人を考慮し、1案くらいが良いかと思えます。

(小越委員)

上石委員と同じで、学校名には地域の思いが濃いですから、三条市以外の人に公募すると地域そのものがわからないと思いますので、地域限定でやるべきであると思います。三条市の中で良いのではないのでしょうか。

(委員長)

今日のご意見を踏まえて次回事務局から提案いただいて、次回決定するというところでよろしいでしょうか。

(7) 次回制定委員会の日程について

大平教育総務課長から提案があり、委員長が諮り次のとおり決定する。

日 時 平成24年8月7日(火) 午後1時30分

会 場 三条市役所栄庁舎 201会議室

8 閉 会 平成24年7月23日 午後3時02分